

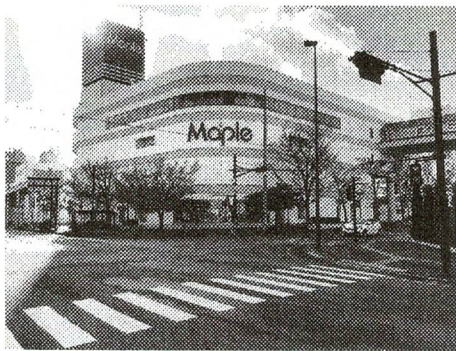
メイプル支援に金融機関も負担すべき

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢区字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049



設立後、消費の減退や郊外への大型店設立等、様々な要因から、メイプルの売上高は減少を続けました。平成17年5月に核テナントであるジャスコ

メイプルは、昭和60年、道路状況の変化と自動車普及し、郊外ロードサイド店舗が広がる中、役割を失いつつあった中心市街地の商店街を再び活性化させるため、横町一番街市街地再開発組合が施行し、旧水沢市が事業主体となり整備した複合商業施設です。

11月14日市議会全員協議会が開かれ、メイプルの閉店、骨髄ドナー支援事業等について、市当局から説明がありました。

この撤退と同時に、運営会社の水沢中央ビル(株)は

民事再生手続を開始し、後継会社(株)水沢クロス開発に営業譲渡しました。

(株)水沢クロス開発は、メイプルの大規模改修を実施し、平成18年4月に営業を再開しました。

電気料金の値上げで非常に厳しい

今般、原油価格の高騰等による電気料金の値上げがあり、メイプルの電気料金も昨年比で2倍以上と大きく上昇。非常に厳しい状況となり、(株)水沢クロス開発は、10月28日にテナントに対し、来年4月末をもってメイプルを閉店する通知を出しました。

市は、メイプル内の市民プラザ・マッセ等の公共施設や公共的団体等の運営を止める訳にはいかないことと、メイプルの空き店

舗が市全体のイメージダウンになりかねないため、(株)水沢クロス開発の債権額約2億7千万円を負担する方向です。

金融機関との話し合いは

千葉教職員は、市が金融機関の債権2億7千万円を負担することであるが、金融機関の責任部分の負担について、話し合いをしているのか質しました。

債権を入れなければ抵当権を解除できない

担当者は「関係機関との痛み分けは考えていた。金融機関は抵当権を解除するにあたり、債権を入れていかなければ、解除できない」というのが、基本的考え方である。一部債権の放棄を求めると、公共施設の入っているメイプルの建物が確保できない可能性がある。メイプルの地階の公共施設等を維持管理し、続けて運営していくためには、この方法しかない

と述べました。

市民の納得をいただくためにも

千葉議員は、市民の納得をいただくためにも、金融機関には一部でも負担してもらうべきではないかと主張しました。

債権放棄には法律の壁がある

倉成市長は「銀行において、過去の不良債権の問題後、銀行の融資・債権放棄は、いろいろと法律の壁がある。すぐに倒れそうな企業への融資・債権放棄はむずかしい。市としても、それだけが均等に負担すべきと考える。債権放棄ができないのなら、次のリボーン(再開)の際の新しい融資ができるので、銀行にはその時に力を発揮してもらいたい」と述べました。

一般質問が実を結ぶ
骨髄ドナー支援事業実現
奥州市骨髄ドナー支援事業は骨髄等提供者の負担軽減と骨髄ドナー登録の増加及び骨髄等の移植の推進、事業所のドナー休暇制度の創設を推進するため、ドナー及びドナーが勤務する事業所に対し、助成金を交付するものです。



県議会議員
千田美津子

11月12日

国は人々が安全に暮らせるようお金をかけるべき



講演する齋藤名誉教授

昨夜、羽田地区防災まちづくり講演会

が開催され、私も夫と共に参加しました。講師の齋藤徳美岩手大学名誉教授は、

羽田地区の防災マップを示しながら、羽田地区全体が洪水浸水地域として「真っ赤っか」に塗りつぶされているとおり大変危険な地域であり、市などの避難情報が出たら一刻も早く避難すべき」と説きました。

齋藤徳美さんは、講演の最後に、「今、国内では軍備増強の話が出ているが、この国はいつたどこに行ってしまうのか。本来、国民が安全に暮らせるよう、お金をかけるべきではないか。日本は核廃絶にもっと打って出るべきだ」と講演を結びました。

先生は自然災害も大変だが、それ以上に戦争につながる軍備増強はもってのほかだ」と説きました。

私の隣には、地元の自民党市議が並んで講演を聞いており先生の話をどう聞いたのでしょうか?